

第 36 回環境審議会（H31.3.27 開催）での意見要旨

該当頁	項目	意見要旨
「第 2 章 基本的な考え方」に対する意見		
P12	本市の現状と課題について	<ul style="list-style-type: none"> ● 熱帯夜日数について、「注視する必要がある。」などを追記してほしい。
P19	計画目標について	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの計画を見ないと分からない計画目標値については、記載したほうがよい。 ● ある程度の数値的な目標や、期間的な目標を書いていく必要がある。 ● 例えば、生物多様性と温暖化が結びつくのかとか、分かりにくいので、見えるようにしていただきたい。 ● 環境基本計画は長期計画であり、おおまなか流れを書き込むしかないと思う。個別計画には数値目標や策定時期がそれぞれある。その関係性が見えてくるように、具体的な数値目標があげられるもの、あげられないものが見えるようになればよい。 ● 達成できない目標を入れても仕方がない。
「第 3 章 基本的な施策の体系」に対する意見		
「第 1 節 低炭素社会の構築」関係		
P20	自然エネルギーの活用について	<ul style="list-style-type: none"> ● 帯水層の蓄熱エネルギーは省エネルギーの技術である。 ● 見出しは「自然資源を活用した省エネ技術」としてはどうか。 ● 再生可能エネルギーの活用は大切。波力や風力発電等を付け加えていただければ、環境に興味がわいてくる。
P21	エコ住宅、ZEB・ZEHの普及促進について	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共建築物における取組みを入れたほうがよい。
P22	公共交通機関の整備と利用促進について	<ul style="list-style-type: none"> ● いまざとライナーの社会実験を盛り込んでどうか。
	自転車の活用促進について	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市部において積極的に進めていただきたい施策の一つ。もう少し書き込んでほしい。
	道路交通の円滑化について	<ul style="list-style-type: none"> ● カーシェアリングを含め、シェアリングというものについて、付け足す要素があれば付け足してほしい。
	建築物の環境配慮について	<ul style="list-style-type: none"> ● 「環境にやさしい」は分かるようで分からないので、「環境に配慮した建築物(P22)」「環境に配慮した会場（P23）」に変更してほしい。
P24	気候変動の適応に関する取組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ● グリーンインフラを適応のところにしたらよいと思う。
P25	「私たち一人ひとりが取り組みたいこと・できること」について	<ul style="list-style-type: none"> ● 「住宅の購入時には省エネ住宅を購入します。」も入れるべき。
「第 2 節 循環型社会の形成」関係		
P27	「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」に基づく取組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ペットボトル回収・リサイクルシステム」は 2R ではなく、リサイクルではないのか。
P29	「私たち一人ひとりが取り組みたいこと・できること」について	<ul style="list-style-type: none"> ● 買い物を通じた取組みは、市民が身近に感じる。「買い物をするときは、再生品を選びます。」を加えては。
「第 3 節 快適な都市環境の確保」関係		
P30	生物多様性の保全について	<ul style="list-style-type: none"> ● 数値的な目標など具体的内容を書いていただきたい。 ● 「生物多様性の保全」は基盤となるので、そこをしっかりと位置付けしてもらいたい。
P31	緑化の推進について	<ul style="list-style-type: none"> ● 緑化の推進だけではなく、緑化の保全にも力を入れるべきと考えており、そのような表現が必要である。 ● 数値目標も含めて、どうやって緑を増やすのかといった具体的な取組みが書けたら、緑に力を入れているメッセージにもなる。
P31	水辺空間の保全・創造について	<ul style="list-style-type: none"> ● 干潟が CO₂ 吸収源として注目されつつある。水辺空間を CO₂ 吸収源として捉えるとよい。
P31	都市環境の保全と創造について	<ul style="list-style-type: none"> ● 「地域主導の景観まちづくり」に「環境に配慮した」という文言を入れてもらいたい。

P32	大気汚染対策について	<ul style="list-style-type: none"> ● 微小粒子状物質（PM2.5）や光化学オキシダントは、大阪市だけでは対策が難しい。大阪市は、原因物質の発生源対策に力を入れていただきたい。
「第4節 地球環境への貢献」関係		
P34	地球環境への貢献について	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際的にいろいろなところで地球環境に貢献していくと書かれている一方で、大阪でやるというところがここでは見えてこない。
P35	「私たち一人ひとりが取り組みたいこと・できること」について	<ul style="list-style-type: none"> ● 大阪にある企業で開発途上国に貢献するような、しかもSDGsの目標達成に寄与するようなビジネスというのを大阪市が後押しするようなことを書くと、企業の勇気になる。
「第4章 施策展開の戦略」に対する意見		
P42	「具体的な取組み例」について	<ul style="list-style-type: none"> ● 1点目に「帯水層蓄熱などの未利用エネルギー」とあるが、P20では帯水層蓄熱は「自然エネルギー」と記載されており齟齬がある。
「第5章 計画の進行管理」に対する意見		
P46	計画の推進について	<ul style="list-style-type: none"> ● うめきた開発事業がSDGsや横串を入れることでどうなるのか、分かるような絵が一枚あると理解しやすい。 ● 分野別・課題別の個別計画に位置づけられている施策・事業は、「第3章」でその旨も明記すれば、環境基本計画と個別計画の整合がわかりやすくなる。 ● 環境基本計画は、個別計画にも横串を通す計画ということなので、個別計画の数値目標や改定スケジュール等も盛り込んでほしい。
P47	施策効果の検証について	<ul style="list-style-type: none"> ● 「大阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における効果検証の仕組みを、環境基本計画の施策効果の検証にも活用するということなので、本計画に、同戦略の環境分野の指標・目標値を分かりやすく示してほしい。
計画全体に対する意見		
計画のあり方について		<ul style="list-style-type: none"> ● 将来の大阪市の姿を考えながら計画を組み立てていただきたい。地域循環共生圏の考え方を踏まえて施策を考えてほしい。
事業者からの意見について		<ul style="list-style-type: none"> ● 生産活動と環境問題をいかに結び付けていくかが難しいという意見が見受けられる。 ● 事業者団体に個別に説明を行うなど、事業者からの意見を聴取し、計画への反映に努めてほしい。
「私たち一人ひとりが取り組みたいこと・できること」について		<ul style="list-style-type: none"> ● 小学生作文コンクール作品を活用については、大人の目線で読み替えず、子どもの感性をそのまま活かすとよい。 ● 個人レベルで取り組むことに限定するべきである。
計画の表現について		<ul style="list-style-type: none"> ● 読みやすくするため、イラストや図等を加えるべきである。